



令和7年度 学校だより

つなぐ

翠輝学園 つくば市立
みどりの南小学校
第58号
発行日 R8. 3. 19



有終の美 素晴らしい6年生でした

第二回継志式



6年生の皆さん、そして保護者の皆様、ご卒業おめでとうございました。

3月17日(火)午前9時より、第2回継志式(卒業式)が挙行されました。お天気にも恵まれ、真新しい制服に身を包んで登校した卒業生。いつものように歩いて登校した卒業生たちは、在校生から「カッコいい!」と言われてニコニコ。とてもうれしそうでした。

継志式で、特に素晴らしいと思われたのは、まず、卒業生91名全員が出席できたこと。第一部では、厳重な雰囲気の中、一人一人登壇し、緊張しながら校長から卒業証書を受け取りました。次に、式を通して子供たちが支え合っていたこと。証書授与や第二部の呼びかけでは晴れの舞台上で緊張し、不安になっても、仲間が声をかけたり、サポートしたりする姿が随所に見られ、とても温かい関わりが見られました。そして、歌声が素晴らしかったこと。4・5年生が歌うハモリのパートに支えられた6年生の素晴らしい校歌。そして6年生合唱「絆」。温かな響きが体育館に広がりました。

4年まで過ごした学校を離れ、期待と不安で新しい生活が始まってから2年間。高学年として本校を支えてくれた皆さん、そして保護者の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。今まで本当にありがとうございました。これからの活躍を期待しております。



緊張して入場



皆で考えたメッセージ



素晴らしい「絆」!



ほっとした表情で退場

【第二回継志式 学校長式辞 より一部抜粋】

幸せになるためには、いくつかの条件がありますが、本校では五つ挙げています。一つ目は、安心できる居場所があること。二つ目は、自分らしくいられること。三つ目は、夢中になれるものがあること。四つ目はできた、分かった、もっとやってみたいと思えること。五つ目は人のためになることを考え、実行できること、です。皆さんは、これまでの学校生活の中で、この条件のような「幸せになれる感覚」を感じてきた、だからこそ、そのような結果につながったのだと思います。

皆さんはこれから中学校へ進学し、新たな人生のステージに進みます。ワクワクする楽しいことがたくさんあると思いますが、困難なこともあるかと思いますが。

しかし、その困難は必ず乗り越えられると信じてください。大切なのは「困難から逃げてはいけない」ということです。ただし、自分一人でその困難を乗り越えようとしなくても大丈夫です。私たちは誰でも足りないところ、不完全なところがありますから、周りの誰かの力を借りることが必要です。

私たちは、一人で生きているのではなく、学校や家族など、他者との関わりの中で生きています。だからこそ、周りの他者とつながりながら、協力し合い、足りないところを補い合うことができます。そうすれば、必ず困難を乗り越えることができます。

いわゆる「一人勝ち」はありません。お互いが支え合い、自分も相手も幸せになれば、学校の目標と同じように「一人残らず、幸せになれる」、よりよい社会になると思います。

そのためには、これまで皆さんに伝えてきた「聴く」ということ、そして「教える」ということの2つを続けてほしいと思います。聴き上手な人は、「相手に共感し、理解できる人」です。人は自分を理解してくれる人を信頼します。きっと信頼される人になります。そして、困ったときは、「教える」のように、自分から周りの人に働きかけてください。そして協力してもらい、一緒に困難を乗り越えていってください。

皆さん一人一人がお互いの違いを受け入れて相手を理解し、相手のことをリスペクトしながら、相手のことを大切に思い、信頼していくことで、多くの問題は解決できると思います。これからも「一人残らず幸せになれる」ことを意識して前に進んでいってほしいと思っています。